

21世紀のクラシック界に彗星のごとく登場し全世界を魅了するベネズエラの若き指揮者のドキュメンタリー

ビバ・マエストロ！指揮者ドゥダメルの挑戦

10月4日 角川シネマ有楽町、YEBISU GARDEN CINEMA 他公開決定！

長髪を揺らし情熱的にタクトを振る“音楽の未来を作るロックな指揮者”（2012年3月14日 ニュースウィーク日本版より）グスターボ・ドゥダメルのドキュメンタリーが、角川シネマ有楽町、恵比寿ガーデンシネマ他 全国順次公開されます。

1981年1月26日ベネズエラに生まれ、10代の頃から天才指揮者として名だたる巨匠たちの薫陶を受けてきたドゥダメルは、2004年「第1回グスタフ・マーラー国際指揮者コンクール」優勝、2009年に弱冠28歳で名門ロサンゼルス・フィルハーモニックの音楽監督に就任。たちまちクラシック界で注目を集めると共に、『TIME』誌が選ぶ「世界で最も影響力のある100人」にも選出。特に母国の若手音楽家から成るシモン・ポリバル・ユースオーケストラを率いたレナード・バーンスタイン作「マンボ」のエネルギーに満ちた演奏動画は世界中で拡散され大ブレイク、2016年にはコルドプレイ、ピョンセ、ブルーノ・マーズと共にスーパーボウルのハーフタイムショーに出演。本作は、そんなジャンルを枠を超えスターへの階段を駆け上がり続ける、クラシック界の新ヒーローの物語——となるはずであった。

しかし撮影中に予想外の事態が起こる。2017年、政治的混迷を極めるベネズエラの反政府デモに参加した未来ある若き音楽家が殺害された事態を受け、ドゥダメルは現マドゥロ政権への訴えをNYタイムズ紙に展開。大統領府と対立したことで、シモン・ポリバル響とのツアーが中止にさせられ、祖国へ足を踏み入れることすらも禁じられてしまう。さらに、ベネズエラを代表する音楽教育プログラム「エル・システム」の責任者の立場からそれまで政治的に沈黙していたドゥダメルは、世論の批判にも同時にさらされることになる。しかし、祖国の若者達と交わした「いつか必ずまた指揮をしに行く」という約束を胸に、ドゥダメルは世界各地でタクトで語り続ける。そのさなか、2018年3月24日に偉大なる恩師、「エル・システム」創設者マエストロ・ホセ・アントニオ・アブレウが死去。その志を未来へと受け継ぐ使命を果たすべく、ドゥダメルの挑戦は続く。

来たる2026年には、ヒスパニック系で初めて、アメリカで最も伝統あるオーケストラ＝ニューヨーク・フィルハーモニックの音楽監督に就任することが決まっており、ますます注目の高まるグスターボ・ドゥダメルの栄光と苦悩そして挑戦に密着したドキュメンタリー。さらに音楽ファンにはたまらない、情熱がほとばしる各オーケストラのリハーサル風景やコンサート演奏も多数収録。『DUNE/デューン 砂の惑星』でのアカデミー賞ほか幾多の音響賞の受賞歴を誇るロン・パートレットがミキサーを務めるオーケストラサウンドと共に楽しみいただけます。ぜひ貴媒体にてご紹介いただけますと幸いです。

【作品概要】 **ビバ・マエストロ！指揮者ドゥダメルの挑戦（原題：¡Viva Maestro!）**

劇中曲：ベートーベン『交響曲第5番』『交響曲第9番』／プロコフィエフ『ロミオとジュリエット』／ドヴォルザーク『新世界』／アルトゥーロ・マルケス『ダンソン第2番』『ダンソン第9番』／チャイコフスキー『交響曲第4番』ほか

監督：テッド・ブラウン[2023年全米脚本家組合賞(WGA)長編ドキュメンタリー部門ノミネート]／字幕：山口三平／2022年／アメリカ制作／103分／配給：ディスクユニオン © 2022 PM Maestro Documentary, LLC. All Rights Reserved. Exclusively licensed to TAMT Co., Ltd. in Japan

●公式ホームページ ⇒ <https://www.viva-maestro-movie.com/>

●メインビジュアル、リリース資料データ、宣材写真等はこちらよりダウンロードしてご利用いただけます ⇒ <https://x.gd/ydOEO>

2024年10月4日(金)より 角川シネマ有楽町、YEBISU GARDEN CINEMA 他 全国公開決定！

配給・宣伝：ディスクユニオン / du CINEMA (坂本) sakamoto.r@diskunion.co.jp / 03-3511-9920

劇場営業：トリプルアップ(島崎) shimazaki@tripleup-e.net / 090-1532-6000

